

合言葉：「 思いやりをもって、 未来へチャレンジ 」

令和5年度 久留米市立大城小学校だより



ますかげ

令和5年12月1日 文責：校長 森 勝之



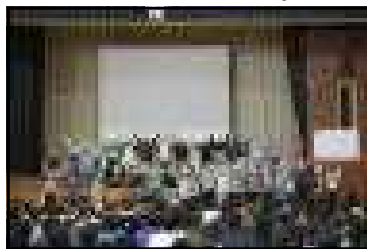
立派な発表でした



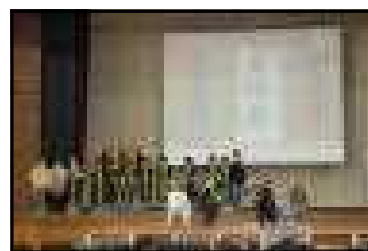
11日(土)の学習文化発表会のご参観ありがとうございました。学年の発表での大城っ子の姿、皆様方の目には、どう映りましたでしょうか？大城っ子全員が本気で取り組んだ立派な発表だったと思います。本当に心から感動しました。



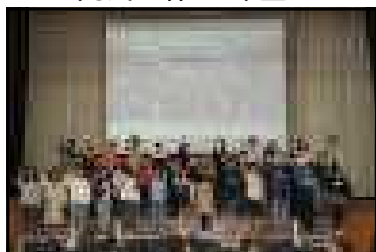
元気一杯の1年生



全力演舞の2年生



抱腹絶倒の3年生



福祉真心の4年生



音色調和の5年生



心技一体の6年生

ここで、参観された地域学校協議会の委員さんの感想を一部紹介します。

● 本日は学習文化発表会を参観させていただき、ありがとうございました。子どもたちの一生懸命な姿に元気をもらいました。我が子が大城小学校に通っていた頃を思い出しながら見ていました。色々な問題を乗り越えて、たくましく成長してほしいと思いました。

● 今日はありがとうございました。日頃からの子どもたちの努力が今日の発表会で十分伝わりました。先生方の指導のおかげです。私の子どもたちの時とは違った姿を見せてもらえてとても感動しました。これからの大城小のことをもっと応援できたらと思います。

● 子どもたちは落ち着いて、各学年の発表を見聞することができていました。特に、4年生以上は成長がよく見受けられました。さすが、上級生です。



ご協力に感謝



例年に比べ残暑が続き、運動会実施が危ういと心配した2学期のスタートでした。後半は、インフルエンザ感染による欠席者も出てきて、大城っ子の健康面についても、十分な手立てを施す必要性を感じました。振り返ってみると、保護者の皆様には、学校行事やPTA行事、子どもたちのこと等々、ご心配をおかけしたり、ご協力をいただいた場面が多々ありました。

しかし、いかなる局面においても「大城小のためだから」「子どもたちのためだから」と前向きに捉え、ご協力をいただいたことに大変感謝しております。

今年度の残りの4ヶ月も、大城っ子の健全な成長のために、職員一同力を尽くして参りますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。



訊く



教育雑誌を読んでいて、同じ読み方をする「きく」について以下の記事がありました。大城っ子たちにとって大切となる「きく」について少し考えました。

「聞く」・・・風の音など自然に耳に入ってくる音や、人の話をきく場面

「聴く」・・・じっくり身を入れて耳に入れる場面

「訊く」・・・人にわからないことを聞いたり尋ねたりする場面

これからの学び合いや合意形成の場面においては、発言することやその内容に注目が集まりがちですが、集団での対話では圧倒的に「聞く」時間が長いです。だからこそ、この聞く時間の質が重要であり、「聴く」と「訊く」をここに投入することが有効です。豊かなりアクションで「聴く」ことができれば、話し手は高いパフォーマンスを発揮できます。それでも本質に迫られていない場合、的確に「訊く」ことにより、内なる思いを引き出すことができるのです。このような相手に寄り添って「訊ける人」の存在が、今、求められているようです。

【12・1月の主な行事予定】

月	日	曜日	主 な 行 事
12	4	月	評価週間（特別時制）～15日（金）
	5	火	持久走記録会 人権講演会 学級懇談会
	13	水	3年 消防署・警察署見学
	22	金	2学期 終業式
1	9	月	3学期 始業式
	16	火	クラブ活動
	17	水	地震対応訓練 6年 中学校入学説明会
	19	金	4年 大石・長野水道見学
	20	土	子ども土曜塾「茶道」 漢字検定
	23	火	児童朝会（給食感謝集会） 代表委員会

